

## 会 議 録

会 議 名	八王子市子ども・子育て支援審議会 第11回給付部会	
日 時	平成26年9月30日（水） 午後4時30分 ～5時50分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 804会議室	
出席者氏名	委 員	青木訓行部会長、池永文乃委員、内野彰裕委員、鍛冶礼子委員、小林千里委員、柘澤章次委員（部会長以下五十音順）
	関連所管	
	事務局	久間毅課長、志萱龍一郎課長、小池靖信主査、高野芳崇主査 他
欠席者氏名	塩澤伸久委員	
議 題	<p>1 審査事項</p> <p style="padding-left: 2em;">国庫補助協議の対象施設の選定について</p> <p style="padding-left: 2em;">（1）誠美保育園大規模修繕事業</p> <p style="padding-left: 2em;">（2）多摩小ばと保育園改築事業</p> <p>2 報告事項</p> <p style="padding-left: 2em;">（1）条例（案）について</p> <p style="padding-left: 2em;">（2）認定こども園における利用調整について</p> <p style="padding-left: 2em;">（3）平成27年度4月新制度への移行・新規開設予定事業者について</p>	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由		
傍聴人の数	なし	
配付資料名	別紙のとおり	
会議の内容	別紙のとおり	
会議録署名人	平成27年 3月26日 青木訓行	

配布資料

- 子ども・子育て支援新制度における利用調整について
- 広報「はちおうじ」10月1日特集号
- 平成27年4月新制度への移行・新規開設予定事業者

別冊

- 認可保育所施設整備計画概要（誠美保育園、多摩小ばと保育園）
- 条例（案）資料
- 平成27年度入園のしおり
- なるほどBOOK【9月改訂版】

【青木部会長】 子ども・子育て支援審議会第10回給付部会を開催いたします。

それでは、国庫補助協議の対象施設の選定ということで、まず事務局から説明をお願いします。

【久間保育対策課長】 それでは私の方から簡単に説明させていただきます。

(資料「認可保育所施設整備計画概要(誠美保育園、多摩小ぼと保育園)」について説明)

【事務局】 私の方から9月の補正予算に伴う施設整備の概要についてご説明申し上げます。

(資料「認可保育所施設整備計画概要(誠美保育園、多摩小ぼと保育園)」について説明)

【青木部会長】 これにつきまして、なかなか専門的な部分もありまして、質問しにくいかもしれませんが、皆様どうでしょうか。柘澤委員いかがでしょうか。

【柘澤委員】 入札不調が出ているようですね。

【青木部会長】 結構建築費が相当上がっていますからね。

まだ業者は決まってないのですね。

【事務局】 いずれの施設につきましてもこれから建築確認をとる準備を進めまして、12月から1月ころの入札を予定しております。

【青木部会長】 不調になることが非常に多いので、ご苦労もあったと思います。他に何かございますか。

【鍛冶委員】 内装を変える保育園は、子ども達は、そのままですか。

【事務局】 増築部分を先に作って、そこを保育施設として使います。

【青木部会長】 他になければ、部会としては、了承ということでよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

【青木部会長】 それでは報告事項に移ります。

【久間保育対策課長】 それでは、報告事項の条例案について報告いたします。

(資料「条例(案)資料」について説明)

【柘澤委員】 高層階への設置については、外側階段がなければいけないという事でしたが、急遽その話がなくなり、特別階段でいいということになりました。

厚労省は、高層階も認めるが、避難計画をきちっとしないと認めないという形を出して、東京都は各自治体に判断をまかせるという形をとるようです。しかし、結局、避難訓練をやったとしてもいつもその訓練を受けた人がいるとは限らないですし、また、ある程度人員を確保しておかないと避難誘導ができません。1人の保育士が何人もの子どもをかかえて降りるなんて事はできませんし、現実的な対応を考えれば、いかがなものかと思

います。そのあたりはどういうふうにする考えですか。

【久間保育対策課長】認可基準をこれから定めますので、そこに具体的な避難手段の確保が必要とされることを示すことができると思います。

【青木部会長】次は、認定子ども園における利用調整についてです。

【志萱保育幼稚園課長】(資料「子ども・子育て支援新制度における利用調整等について【平成26年9月11日 国資料】」について説明)

八王子市の場合、待機児童、利用定員等の条件をクリアしており、認定こども園につきましても、これまでも利用者と施設の契約によって施設を利用する人が決まっていたという経過を鑑みまして、本市における3歳以上児の認定子ども園の利用調整については、そこに示されておりますパターン2を導入するという事について報告させていただきます。

【青木部会長】ありがとうございます。時間がなくなってきました。続けて平成27年4月新制度への移行・新規開設予定事業者についてお願いします。

【志萱保育幼稚園課長】(資料「平成27年4月新制度への移行・新規開設予定事業者」について説明)

【青木部会長】2点続けて報告していただきました。まず認定子ども園の利用調整について何か質問ございますか。

【柘澤委員】他市に住む子供を受け入れる広域利用を考えた時に、先ほどの第一希望の取り扱いはどうするのでしょうか。

【久間保育対策課長】認定こども園3歳以上については、第1希望されてる方を優先する考えです。

【柘澤委員】保育園の入所の部分に関しては、そこは引きずらないですか。

【久間保育対策課長】引きずらないです。

【柘澤委員】従来どおり、八王子市優先の形ですか。

【久間保育対策課長】はい。

【青木部会長】他にございますか。内野委員、何かございますか。

【内野委員】認定こども園の広域の取り扱いについては、幼稚園側からすれば、まさに直接契約の中で信頼関係が成り立っていますので、それで仕方ないかもしれません。

【青木部会長】池永委員いかがですか。

【池永委員】これらの資料を見ても保護者にとって分かりにくいので、保護者が動きやすい説明や案内が必要かと思います。

【志萱保育幼稚園課長】新制度の施設型給付に移行する幼稚園、それから自動的に新制度になってしまう認定こども園については、説明に行くことにしています。保育所については、なにぶん数が多いので、11月1日からお配りする入園のしおりに詳しく記載しております。また、入園手続きを中心とした保護者説明会を3回ほど市内で開催させていただく予定ですので、そちらでしっかり案内をさせていただきたいと思います。在園児の保護者については、保育園を通じてご案内の文書を出し、今までどおり安心してお子さんを預けられるようご案内する予定です。

【内野委員】施設型給付に移行しない幼稚園の在園児に対しては、何か案内のようなものは出ないのでしょうか。

というのは、基本的に広報があるのですが、実はこれ、非常に分かりにくいという声が保護者から寄せられています。

八王子の幼稚園の9割前後は従来制度のままなのに、保護者がこれ読むと、ほとんどが新制度に移り、幼稚園の利用手続きが変わります、という印象を受け、非常に困惑するようなのです。内閣府が作ったこの「なるほどBOOK」というパンフレットもそうです。全然分からない、分かりにくいので、全日私幼連が幼稚園の保護者にとって分かりやすいパンフレットを作りました。新制度に移行しない幼稚園がたくさんあるという現状に合わせて作ってあるので、保護者にとってすごく分かりやすくなっています。つい最近、全日私幼連のホームページからダウンロードできるようになりました。

【久間保育対策課長】ぜひ研究させてもらいます。

【池永委員】親の中でも興味ある方とない方がいらっしゃると思いますが、今幼稚園にいる人たちが、この切り替わりの時期にある程度理解しておけば、親の中で引きつがれていき、子育ての相談とかする場において活用されるのではないのでしょうか。計画の素案づくりの中でも、親同士が支えあい、支えられる側から支える側へとバトンがリレーされる循環型の仕組み作りが必要という話がありました。何が変わってどうなるのかという説明を、広く分かりやすくしていただけると後の世代につながっていくと思います。

【青木部会長】分かりました。小林委員、何かございますか。

【小林委員】正直なところ、分かりにくいです。この審議会に参加している私でも、分かるか分からないか、というところです。働く立場からすると、どういう選択肢があるのか、まずそれを知りたいです。これまでは選択肢が幼稚園か保育所の2つで、働くなら保育所というのが必然でしたが、認定子ども園などが選択肢に含まれてきて、幼稚園も預ける時

間によっては利用できるかもしれない。選択肢が広がったにも関わらず、それがわかりにくい。自分は何が利用できて、利用するためにはどうすればいいのか、フローチャートのようなものがあればよかったです。

【内野委員】幼稚園は、ほとんどが預かり保育を実施しているので、実質的には預かれますからね。利用手続きが保育園とは違いますが。

【小林委員】せっかく制度を変えて良くしようとしても、伝わらないかなど。例えば認定こども園は誰のためなの施設なのか、メッセージが伝わりません。

説明会の日程ももっとネットで大きく伝えるとかしたほうが良いと思います。ネットで子育てを検索している人はたくさんいると思います。多分来年働こうと思っている人は、今から探していると思うので、その人たちがまず情報をキャッチしてくれないといけません。

【柘澤委員】新制度になるにあたって、窓口で相談を受けてくれる子育てコンシェルジュみたいなのは作らないのですか。

【久間保育対策課長】残念ながら予算が付きませんでした。

例えば、近くの幼稚園で預かり保育を実施しているから保育園でなくても通えますよ、とか、そういうことを案内できる体制を充実していきたいですね。

【小林委員】ニーズが一人一人違うので、丁寧に対応してあげてほしいです。

【柘澤委員】新制度に関して説明会をしても、そこで質問できる人はよほどスキルの高い人で、普通、何を聞いたらよいかも分からないと思います。

【青木部会長】たぶんわからないでしょうね。

【小林委員】制度について分かる必要はそんなにかもありません。それよりも、親はこういう選択肢がある、というのを知りたいと思います。

【柘澤委員】こういう働き方をされていて、ここに住んでいる。では、どこの園がいいのか、どこで申し込んだらいいのか、という。

【青木部会長】保護者が気になるのは、切羽詰まった、現実的な問題ですよ。

【小林委員】例えば保育園2園に希望を出したとして、その後、どちらかに入れるかな、と長い間心配しているものですが、希望を出せるところが1つ増えて3園になったなら、何か良くなったなって親は思うものです。そこを実感できないと。

【青木部会長】分かりました。まだまだこの論議続けたいのですが、もう時間が来てしまいました。最後に鍛冶委員からお願いします。

【鍛冶委員】 だいぶ具体的な話になってきましたが、もっと具体的でないと市民には利用しづらいという事が最後に分かってよかったと思います。

【青木部会長】 では、この後の本審議会も引き続きよろしくお願いします。ありがとうございました。